

接触予防策

患者、家族、来訪者向け情報

なぜ私はこのパンフレットを受けとったのですか？

誰もが細菌を持っています。細菌のほとんどは無害であり、役立つものもあります。しかし、数は少ないものの、健康を害し、病院環境で簡単に広がってしまう細菌もあります。私たちの目標は、そうした細菌から患者や家族、来訪者を守ることです。病院環境で広がりやすく、他の患者の具合を悪くしてしまう細菌は、あなたの体からも見つかります。接触予防策は、人から人への細菌の広がりを防ぐ方法です。



接触予防策とは？

接触予防策は、こうした細菌の広がりを遅らせたり阻止するために組み合わせて作用するシンプルな行動をまとめたものです。シンプルな行動とは、手指を洗うことと、自分の持ち物は他の患者の近くに置かず離しておくということです。

医療施設や家庭で感染の広がりを防ぐ方法



病院

医療スタッフは次の対策を実施します。

- 個室が利用できる場合は、患者を個室に移します。他の患者と同室の場合は、ベッドまわりのカーテンを閉めたままにします。
- ドアやカーテンに「接触予防策」という標示を貼り、病室に入る方々に特別な予防策について注意を促します。
- 手指を頻繁に洗浄します。
- 直接ケアを行う場合は、長袖ガウンと手袋を着用します。
- 室内で使用した機器備品は定期的に清掃/消毒します。

患者が実施すべき対策

- 病室を出る前に手を洗ってください。

家族や来訪者が実施すべき対策

- 細菌が広がるかもしれないため、他の患者の身の回りのケアを手伝わないでください。
- 直接ケアを行う場合はガウンと手袋を着用してください。
- ケアが終わったら、ガウンと手袋を脱いで、室内にあるリネン/ゴミ箱に入れてください。
- 面会の前、ガウンや手袋を脱いだ後、病室を出る前に手を洗ってください。



外来クリニック

医療提供者は次の対策を実施します。

- ケアを行う前に手指を洗浄し、ガウンと手袋を着用します。
- 手指を頻繁に洗浄します。

患者が実施すべき対策

- 出入りする時にアルコール入り手指消毒剤を使って手指衛生をしてください。
- クリニック内では、咳やくしゃみをするときはティッシュで覆い、ティッシュは適切なゴミ箱に捨ててください。ティッシュを捨てた後に手を洗ってください。



長期介護施設

医療スタッフは次の対策を実施します。

- ケアの前後に手指を洗浄します。

患者が実施すべき対策

- 自分の部屋を出るとき、食事の前、トイレの後には必ず手を洗ってください。

感染症を発症した場合

- 感染症の治療を受けている間は、接触予防策として制限を受ける場合があります。
- その間は部屋を出たりアクティビティへの参加が認められないことがあります。
- スタッフはケアを行うときにガウンと手袋を着用します。
- 家族や来訪者がケアを手伝う場合は、ガウンと手袋の着用を求められることがあります。
- 感染症の治療が完了すれば、再び部屋を出たりアクティビティに参加できるようになります。



家庭

医療スタッフは次の対策を実施します。

- 頻繁に手指を洗浄し、ケアするときはガウンと手袋を着用します。
- スタッフ用の手指衛生用品を持参します。

患者・家族が実施すべき対策

- スタッフが必要に応じて温水の出る清潔なシンクにアクセスできるようにしてください。
- 医療廃棄物やPPE（個人防護具）を入れるゴミ箱を用意してください。
- どんな食べ物でも作る前、食事の前、トイレを使用した後、くしゃみ・咳をした後、鼻をかんだ後は手を洗ってください。
- 衣類やリネンは、家庭で出る他の洗濯物と同じ方法で洗濯してください。
- 一般的な家庭用消毒剤を使って定期的に清掃をしてください。